

# 3R瓦版 (7月号) 2017年

負けるな!  
エコ300くん  
作: フジコイトウ



© 2017 フジコ イトウ All Rights Reserved.

## 京都から世界へ 広がる環境にやさしい活動の輪

京都市伏見区にある京都市環境保全活動センター（愛称：京エコロジーセンター、以下エコセン／指定管理者：公益財団法人京都市環境保全活動推進協会）をご存じでしょうか？1997年に開催された京都議定書が誕生した第3回気候変動枠組条約締約国会議（COP3）を記念して2002年に設立された、環境にやさしい活動を広げる、環境学習や環境教育、環境保全活動の拠点施設です。多くのパートナーや市民の皆様を支えられ、おかげさまで、今年4月に開館15周年を迎え、一昨年度・昨年度と2年連続で、開館以来過去最高となる年間来館者数10万人を達成しました。

このエコセンの大きな特徴は、市民参画とパートナーシップ。設立前からその目的や役割、建物のコンセプトや展示の内容、事業の方向性などを行政（設立者である京都市）だけでなく、NPO、市民活動団体、事業者、学識経験者などが意見を交換しながらつくってきました。開館後には、環境ボランティアである「エコメイト」も加わり、市民参画・パートナーシップによる事業の展開を続けています。来られたことのある方はご存知かもしれませんが、エコセンの入り口には、「COP3開催記念館」というプレートがついています。「京都議定書記念館」ではなく、京都議定書を生み出した会議である「COP3開催記念館」であるというのは、「成果物（結果）」だけではなく、それを生み出すための「プロセス」を大切にしたいという想いと姿勢の現れなのです。

このエコセンの取組は世界からも注目を集めており、海外からの視察や研修の受入も年々増えてきています。また、エコセンの市民参画・パートナーシップを大切にしたい環境教育や環境保全活動を広げる取組をモデルとした海外での取組も始まっています。

2015年には国連で「持続可能な開発目標（SDGs）」、そしてCOP21では「パリ協定」が採択されました。そして今年には京都議定書誕生のCOP3からちょうど20年の節目の年です。京都から世界へ、これからも市民参画とパートナーシップを大切に、環境学習や環境教育、環境保全活動の拠点施設としての役割を果たしていきたいと思っております。是非一度皆さんも京エコロジーセンターに足をお運びください！



### 京エコロジーセンター

京都市伏見区深草池ノ内町13  
青少年科学センターすぐ隣!!

開館時間：9時～21時

（1・2F展示は17時まで）

休館日：木曜日（祝日の場合は翌金曜日）、年末年始

※入館無料

REPAIR  
FACTORY

(有)本杉工機

京都府久世郡久御山町田井新荒見220番地

tel: 0774-66-6254

公益財団法人京都市環境保全活動推進協会 新堀春輔